

ホオジロカンムリヅルの「官兵衛」

ホオジロカンムリヅルは、アフリカ大陸の南部に生息していて、現地では神聖な鳥として大切にされています。名前の通り頬が白く、頭にはクリのイガ状みたいな黄色い冠羽かんぼうという飾り羽があります。

「官兵衛かんべい」(雄)の冠羽は、そこそこかわいくもあり、なかなか勇ましくもあります。

飼育員 日誌

須坂市動物園



懐っこい性格の持ち主で、飼育員が掃除や餌やりに入ると、翼を広げて飛び跳ねながら首を上下に振ってダンスをしているかのように動き回ります。ひょうきんな一面もあり

人懐っこく ひょうきん

ます。首を動かすしぐさは、お辞儀をしているみたいです。そこでこちらにも、首を動かしながらお辞儀を返してあげると、飼育員の周りをさらに激しく動き回ります。とてもうれしそうに。でも、誰かが見たら、とても不思議な光景に見えるでしょう。

もっとも、官兵衛が最も輝くのは、翼を広げて美しい羽の色合いを披露しているときです。見る機会があったら、拍手を送ってあげてください。格好いいですから。

(カンムリヅル担当 羽生田実)

